

クラス	氏名	学期	Keep	Problem	Try
ぱりん	梅谷明子	1	今年度は、週2回登園は1名ということで、週5の3名と合わせて計4名がくつきー組との合同保育でスタートしました。週2のお子さんも兄がいて一緒に登園できるので、わりと早く慣れてくれたように思います。月齢が低いこともあり、まだまだ幼い部分は目立ちますが、沢山言葉掛けをして関わりを持ち、少しずつ信頼関係を深めていきたいと思ひます	①ぱりん組は、月齢が低く成長に差が見られる ②食が細い、偏食が気になる ③慣れてきているが、まだまだ不安な表情をしたり泣くこともある	課題①について 個々に応じた言葉掛けが必要となる ②について 少しでも食べられるようにペースに応じて進めていく。引き続き無理強いはせずに見守る ③について 不安な表情をしていたら寄り添って過ごすようにしている(体調の変化を見逃さないよう気を付ける) 和やかな雰囲気を作り、安心して生活出来るように配慮しているが、まだ意志疎通が難しいので保育者が子どもの気持ちを汲み取って対応しなければならぬ 2学期の課題 上記の① ② ③に加えて ○担任や他の保育者に慣れ、友達を意識し始めて一緒に遊ぶ ○園児が増えるので、怪我やトラブルのないように常に注意深く見守る
		2	①1学期と比べると、よりクラスの雰囲気慣れ園生活を楽しむようになった 精神面、情緒面での安定が感じられます ②生活面では多くの点で自立してきている。	①それぞれのペースで成長、自立してきているが、食事やトイレトレーニングではまだ個人差があり、うまく進まない子がいる。 ②まだまだ相手に気持ちを伝えたり、聞いたり、理解力が乏しい点もある。	課題①について ??特に食事面で差が大きいので、保護者と連携をとりながら少しずつ食べられるように見守っていく 課題②について ??簡単なルールのある遊びを通して他人の関わり慣れる 友達の存在を意識して一緒に遊ぶ楽しさを味わったり、自分の気持ちを伝えたり出来るように日々の自由遊び、設定保育に創意工夫を凝らす
		3	前回の課題①について 食事面については、まだ差はあるものの皆食べられる量が増えてきて時間内に食べ終える事も出来ている。ただ偏食傾向のある子については、今後も時間をかけて向き合う必要がある トイレトレーニングは、一進一退であと少し時間が必要。タイミングを見計らってその子に応じたきめ細かい対応をしていく。 課題②について くつきー組と合同保育の中で、たくさんの刺激をもらい、色々な経験を通じて友達との関わりも増え社会性が育ってきた。言葉の面でも大きな成長が見られる。	合同保育の際に、月齢による色々な差を感じる毎日でしたが、最近やっと3歳になったぱりんぐみの子が追いついてきたという印象です。まだ理解力に欠けたり、行動に時間がかかる部分はありますが、見守りつつ必要に応じてフォローしながらできる限り自立を促していきたいと思ひます	残りわずかですが、進級する事を楽しみにして今は、身近な友達や先生方と安全に楽しく過ごせるように配慮していきます
くつきー	霜尾はる子	1	少しずつ園の生活に慣れてきて、泣かずに登園できるようになってきた。スタートの人数がちょうどよく一人一人しっかりと見ることができた。	トイレトレーニングをもう少し進めたかったが、なかなか進まなかった。その子の成長に合わせてすすめていきたい。	今年は作品展の展示の仕方を、少し変えようと思ひているのでしっかりと考えてやっていきたい。
		2	10年目にして初めてオムツ全員とれました。冬休み戻ってないことを祈ります。	ポーリングやおはしの練習、紐通しなどお部屋でできる遊びのレパトリーをもう少し増やしていきたい。	絵本を自由に子供が選んで持ってくるコーナーを作ろうと話しました。名作絵本を読み聞かせてあげたいと思ひます
		3	・発表会前に学級閉鎖がありましたが、本番はいつもと変わらず可愛い姿を見て頂けて良かったです。2学期からお部屋の線の上を歩く練習を遊びの中で取り入れていたので並んで歩くことがスムーズに出来てました。 ・給食の残飯がほとんどなくなって、完食出来る子が増えた。食べ始めに量の調整をしている。	・お昼寝中の避難訓練の練習	・発表会を少し変えたい(色々考え中)
けーき	雲岡千春	1	子どもたちが自分でできたと思える言葉かけや活動を心がけて過ごしました。2学期からも続けたいです。	歌や手遊びなどまだまだ勉強不足です。トイレトレーニングについて	他のクラスの先生の様子をみたり、自分でも調べたりして、学んで行きたいです。
		2	ともだちと遊ぶ活動を通して、あそびを広げていくこと トイレトレーニング	課題 子どもの年齢にあった保育をすること 年少組の園生活に合わせた保育をすること	解決策 学年の先生や補助先生に聞いて、足並み揃っているか、確認し、ご指導いただく 新たに挑戦したいこと 絵本を使った保育 自由あそびの発展
		3	トイレに行くのが苦手な園児に、トイレの水を流す役割を与えた所、トイレに対する苦手意識が下がり、一人で用を足せるようになった	特になし	特になし

クラス	氏名	学期	Keep	Problem	Try
あいす	三木さおり	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今年のこの学年は、全体的に落ち着いているように思う。話もしっかり聞けるので、出来る事を少しずつ無理なく増やせていけたらと思う ・この1学期で、月齢の大きさを凄く感じている。出来る事の差も多く、自分でしたいと思う事も多いので、その気持ちを大切に、出来るだけ自分で出来るよう、余裕をもって見守っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名前が覚えられず、あの子この子と呼ぶ事が多いので、お名前を覚えられるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早く名前が覚えられるよう、遊びや出席をとる時に工夫して、無理なく覚えられるようにする。
		2	<ul style="list-style-type: none"> 友だちの名前を覚えるのに、出席をとる時にみんなでお名前を呼んだり、自分でお名前を言うようにした。遊びの中でも「〇〇ちゃん、〇〇くん」と聞けるようになったし、お母さんから、お友だちの名前が出るようになったと喜んでくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> 座って落ち着いて出来るおもちゃを増やしたい。今年の子は落ち着いて色々出来るので、指先を使った遊びをドンドンさせてあげたい。例えばパズルなど 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本のコーナーを新しく作りたくて2歳で話あいました。昔話や簡単な童話を読んであげたい。毎日、お昼寝の前に全体で絵本を読んでいるが、出来れば一対一で読んであげる時間を作りたい。
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・少し難しいかなと思う事でも、やってみようようにした。考える力がついて遊びも広がったように思う。 ・絵本コーナーを作って、読みたい絵本をえらぶようにした。絵本を見る時もどうしても前に来る子と後ろの子が決まってしまうので、選んだ子が優先的に一番前で見られる様にした。特別感があり普段読む絵本より楽しみにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度あいすぐみを担任して、月齢の差の大きさをすごく感じた。初めから無理と言う考えを無くして、臨機応変に保育の幅を広げていかないといけないと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽会、歌もダンスも手作り楽器も子どもたちは好きで、お稽古の時から無理なく出来たと思うが、新年度は少し違った形の音楽会にしたいと考えている。
ぷりん	岩原洋子	1			
		2	<ul style="list-style-type: none"> 言葉数が少ない子供に対し、たくさん話しかけて、返事や言葉のまねをさせて、少しずつ言葉を発するようになってきたこと。友達の名前もたくさん覚えて言えるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ぷりんぐみが少ないため、少人数で保育する時とくつきーぐみと合体して保育する時とがあり、子供達も最近では理解して順応してきている。それぞれの良さが、継続していきたいとおもう。 	<ul style="list-style-type: none"> 3学期は、音楽会の練習などで、ほぼくつきーぐみと合体し、保育することになるが、ダンスをしたり歌を歌ったり皆で楽しみたいと思う。ぷりんぐみの3人がまだおむつなので、3学期よりパンツに挑戦していきたいと思う。
		3	<ul style="list-style-type: none"> 音楽会の練習はくつきーぐみとぷりんぐみは、いつも一緒に練習していたので大人数の中で、ワイワイ楽しく過ごせました。 	<ul style="list-style-type: none"> ぷりん3人の時は、1人でゆっくり見れるので制作をして、それを使い遊んだりしました。 	<ul style="list-style-type: none"> 4月から、ぷりんが1人2人の人数らしいので、くつきーぐみと合同ですごします。

クラス	氏名	学期	Keep	Problem	Try
うやぎ	木幡由美子	1	お話を聞く姿勢をお話をする前に毎日伝えたことで静かして話を聞けるようになった。	ほとんどがお友達と遊べるようになって来た中でも消極的で入れない子どもがいるので友達と遊ぶことの楽しさを自分も入り伝えていく	クラス全体が一人遊びから複数遊びに変わり、保育士が入らなくても積極的に遊び輪が広がった。お当番の時にみんなで名前を言ったりその子の話を伝えたことでお友達に興味を持つようになったと思う。
		2	それぞれ思いやりが芽生え子ども同士の繋がりが深くなった。担任が介入しすぎないで直接子ども同士話をする場を提供した。一緒に考えようと寄り添う機会を増やした	自我の成長でトラブルが増えてきた。どうしてトラブルになってしまうのかを考えるよう両方の話を聞き納得できるようにする	子ども同士遊ぶ事の楽しさを見つける先生が入らなくても自分たちで楽しく過ごし、遊びを考えて友達との繋がりの楽しさを実感して欲しい＝幼稚園楽しい
		3	子ども達との会話を意識し、ありがとうをたくさん言葉に出せた。	年少合同や、3学期に満3クラスとの縦割りをいれたい。	なかよしデーやじゆうデー(したい事をする日)など取り入れたい。
ばんだ	長田つむぎ	1	お約束ごと(お部屋では走らない・お友だちが話している時は静かに聞く・「かして、いいよ」を言うなど)を毎日伝える。すると、子ども自身が注意し合うようになった。	物の扱い方。特に絵本の扱い方がまだ分かっておらず、絵本を踏んだり投げたりしている姿が見受けられる。2学期からは1度みんなの前で絵本の扱い方について話そうと思う。	毎日決まった遊び(戸外遊び・室内遊び)が多かったので、風船を使った遊びや色水遊び、ちぎり絵など設定保育を増やしていきたい。
		2	作品展での世界観作り。子どもたちの身近な「お菓子」にしたことで、想像しやすくどの工程も楽しんで行っていたと思う。	お菓子の家の屋根が崩壊してしまった。予め、先輩の先生にどうしたらいいかの相談をもっとしておくべきだと思った。	お遊戯室の舞台にあがるのが少なかったと思う。来年の1,2学期は舞台慣れをする為にも、舞台での活動を増やしたいと思う。
		3	活動終わりに、ワンクッション(トイレ・お茶飲みなど)はさみ、子どもたちが切り替えて次の活動に移ることができるようにした。	切り替えが難しいお友だちを待っていると、早くから待っているお友だちが退屈する姿が良く見られた。	手遊びや、ジャンケンなどで場を繋いでいたがその他にもクイズや簡単なゲームなどの種類を増やす。
りす	渋谷桜子	1	●子どもたちとの信頼関係が徐々にできてきた愛情を持って関わる ●やっていいこととやってはいけないことの区別はやっぱりしっかりつけてほしいと思うので、注意言葉がけしたいし、些細なことでも頑張っていることは認め、たくさん褒めてあげたい	私自身、豆知識をもっと習得して子どもたちに伝えたい(こどもたちに聞かれた時に曖昧に返事しないように)	人前にでることに慣れてほしいのでそのような機会を作りたい(妥協、根性)
		2	毎日のルーティーンを作ることで、子どもたち自身も次なにをするのかわかり、2学期は子どもたちのほうから次これ?と聞いてくるが多かった。これは継続していきたい。 例えば、いつもお帰りは帰りにするのですが、その日になにか行事があり、朝にする場合などは必ず子どもたちに理由を伝えて理解できるようにしている。	2学期に入って、園にもクラスのお友達にも慣れてきていて、できていたことができない。(わがままを言うってしまう)そのような子への対応が課題です	1学期の振り返りで教えていただいたように、わからないことは携帯で検索するようにしました。子どもたちも納得してくれることも増えて続けていきたいです。 挑戦したいことは、映画って幼稚園で観られますか??その映画を見て絵画を描きたいです。
		3	・プロジェクトのこともあり、いつもより気にかけて子どもたちの発言をひろうよう心がけた。 ・お風呂屋さんに行くまでにお部屋でお風呂屋さんごっこをした様子の写真や、実際に行った時の写真、園外保育での写真など、行事行事の写真をプリントして後ろのホワイトボードに貼っていると、子どもたちも「これ楽しかったなー!」「ここに〇〇ちゃん写ってるー!」と振り返りができていたので、来年も継続したい。	・3学期頃には2歳さんとの交流も増やせたらよかったなと思った。	・仲良しデーだけでなく、4クラスを行き来できるような時間を設けたい。
あひる	兵埜沙季	1	4月当初は、段取りや、進め方など何も分からない状態でしたが、徐々に1日の保育の流れなどが掴めてきました。 帰りの準備の際に、お話をしている子が多くて進められないときは、きらきら星を弾いて“ごろりんタイム”を作っています。そうするとクールダウンするので、次のお話を聞けるようになりました。	「なんとなく今日の保育うまくいかなかったなー」という日があり、それが何故なのか分からないまま次の日になっていることがありました。	保育が上手いかなかった日は何故なのかを振り返っていきたいと思います。 少し空いた時間などにできるゲームなどを取り組んでいきたいです。
		2	・個人差はありますが、制服の着替えがスムーズになったように思います。「やって?」と言われても、子どもができるように声を掛けるようにしました。 ・1学期の課題点では、給食後から降園準備がバタバタして、上手いかないなと感じていましたが、私も子どももルーティンが体に染み付き、降園準備もかなりスムーズになりました。 ・子どもから「せんせいすきっ」などと言われると1番のエネルギーになっています。	・作品展で挫折しました。テーマはやんわり決められたものの、それを事細かに、何を使ってどう作っていくかが難しく、「どう作りたいか?」などと聞かれたりしても、自分は何をどうしたらいいのかすら分からなくなりました。日だけが経っていき、プレッシャーもかかって、精神的にもしんどい部分がありました。 ・クラスの仲が深まる一方で、お友達に対して嫌なことを言うてしまう子が増えてきたように感じます。 ・そして私個人の問題ですが、2学期は体調を崩しがちでした。	作品展では見通しを持つのが難しかったため、やることリストを立てて、何から順番に進めていけばいいかなどを考えていけたらと思います。 また、体調管理にも気をつけていきたいです。
		3	発表会が思っていたよりも(私自信が)苦戦しないで乗り越えることができました。12月頃から台本を作り始めていたため、余裕を持てたのかと思います。発表会当日もみんな頑張っていて、行事の中で1番やり遂げた感を得られました。	同じことを繰り返してしまう子どもなどに対して投げやりで怒ってしまうことがあった。 また、プロジェクト保育も結局どうすればいいのか分からなかった。	来年はもう少し色んな面で余裕を持てるようにしたい。子どものやりたいことも拾えていけるようにしたいです。

クラス	氏名	学期	Keep	Problem	Try
もも	松本佳音	1	負けん気が強い、というクラスカラーを利用し、様々なゲームをして、1位になった子どもを貼り出すことで子どもたちも楽しみながらも、真剣に取り組むことが出来たのかなと感じました。またその中でお友だちを応援する気持ちも育まれたと同時に、他クラスだった子ども同士も関わるいい機会になったと思います。また、男女で対決したりすることもプールの時間などでしており、話し合いもその中でできるようになってきました。お部屋でする遊びもみんなで手を挙げ発表したり、男女別れて話し合いゲームを1つずつ決め、ジャンケンで最終決定するという方法もとったりし、子ども同士で話し合う機会も多く設けられ、話し合いが子どもだけで出来なかったとしても、大人が介入しながらも、お友だちの意見も聞くということも出来たのではないかなと感じます。	隙があるとすぐに名札や椅子、服などを噛む、ボタンを外してしまう(スモックからボタンをちぎる?)子どもが今年は多く、声掛けをしています、なかなか改善が見られません。 負けん気が強いということがあり、衝突することも少なからずあります。ゲームを決めるにしても、自分のしたい遊びでないと遊びが始まるまでは納得がいかず、不貞腐れてしまう子どもが居ます。子どもであるため仕方が無いので、特別問題視はしていませんが。	子どもが納得出来るような声掛けをしながら、楽しく初めからゲームに参加できるようにしたいです。また、造形が好きなクラスであるので、模造紙などを使いながら、子どもたちが楽しんで取り組めるような造形活動を取り入れていければいいと思います。
		2	クラス全体でする遊びについて、一学期は自分がしたかったゲームや遊びでなかった場合、不貞腐れつつから入る子どもの姿が見られたが、子どもに聞きつつも、同じ遊びを少し続けてすることや少し工夫をすることで、次第にその遊びも好きになり、どの遊びであっても初めから楽しんで参加する姿が見られるようになりました。 また素敵な花を咲かせましようという木を設置したこともあってなのか、特定の子も同士の仲が良くなった気がします。その他の子どもも今は少し薄れつつありますが、設置した当初は友達同士の言葉に耳を傾け、素敵な言葉を見つけてくる子どもが多かったです。その結果、嫌なことを言われたということが少なくなった気がします。	子ども同士の関わりをより深めていければと思います。ももぐみはどちらかというとグループが個々にあり、入れてーいいよーと色んな子が遊ぶことはありますが、クラス一体となってということは例年のクラスに比べると少ないなと思います。クラスで遊んだ後はその遊びをまた色んな子どもでグループの垣根を越えて遊んでいる姿は見られますが、普段からグループの垣根も越えて遊べるようなクラスになれば、生活発表会などのお稽古にもいい影響が出るのかなと思います。 生活発表会を意欲的に、子どもたちがしたいと思えるような環境構成や工夫が自分の中で課題かなと思います。毎年本当に苦戦しイメージがなかったのですが、子どもたちが意欲的にしていたかという部分では疑問が残ります。本当に圧をかけてた気もしくはなく、今年は子どもたちが楽しんで意欲的に取り組み、したいからするという方向に持って行けるようにしたいなと思います。	keepでも書きましたが、同じ遊びをすることや、少しの工夫をすることで子どもたちが遊びを好きになり、自分のしたかった遊びでなくても納得して参加できるようになりました。 クラス全体で遊ぶことは一学期から継続し、多くの時間を作ってきましたが、三学期も変わらず時間を作り、子どもが一致団結して、クラス全体で遊べるような遊びを提供し、クラス全体とまではいかなくても、もう少しグループ感も大切にしつつも色んなグループのお友だち同士で関わり、遊べるようにしていけるようにします。
		3	生活発表会やビーマーチなどやる気ができるように目に見えるようにシールを貼ったり、ビーマーチマスター表を作ったり、聞いてーと来たら出来ててもできてなくても頑張った証で名前シールを貼ったりしたことは、子どもたちのやる気を引き出し、自信に繋がれたんじゃないかなと思います。	鍵盤ハーモニカが苦手な子(嫌いじゃないが吹けていない、吹けているが苦手な子、ドレミ自体がわかっていない子)に対してどのように支援していこうか考えているところです。	子どもたちと共に楽しみながら、子どもたちが自らしたいと思えるような関わりと遊びを提供していけたらいいかなと思います
めろん	市川陽菜	1	・発表する機会を作ることで、お当番の時の発表など前に出て発表する時の声も大きくなった。 ・何かしてもらった時など「ありがとう」を大切にすることで、感謝を相手に伝えられるようになりなった。 ・お手紙など配る時グループ1人の子に渡して配るお手伝いをしてもらっている。	・給食(苦手な子の) ・自分の考えと相手の考えが違った時にぶつかってしまう子への対応	・お手紙を配るお手伝いをしてもらっていましたが、他にも何か子ども達が出来るような役割を与えて頑張る気持ちを持てるようにしたいです。
		2	・1学期同様お手伝い制度 ・外遊びの鬼ごっこ(鬼ごっこの種類をみんなで決めたり、鬼を自分たちで決めたりと話をしたり一緒に遊ぶことが増えたように感じる) ・クラスでここ良かった!嬉しかった!をみんなに聞く	・給食の後の時間(子供たちの終わりがバラバラで中々揃わない残っている子も周りを見れるように ・気持ちが伝わらない時に、まだ口ではなく手が出たりしてしまう時の対応 ・マイペースも子ども達の良いところではある部分もあるが、周りに合わせて動くという気持ちを持つように促す ・問題ではないですが、新入園児とのクラスの子と私達の関係	・給食の後みんなが揃うまでの時間の使い方を改めて考える。 ・仲良くなってきた分お友達に自分の気持ちを伝えることが多くなり、言い合いに発展することが増えました。 子ども同士での解決が出来るように、誰かに話を聞いてもらったりするミニ先生の存在を考える。 ・すぐには難しいかもしれないが、今日はここを頑張るポイントをゆりくん自身が決めれるように促す
		3	・今年度意識していた「とりあえず一回やってみる」というのは来年度も続けていきたい。 ・発言が苦手な子も一度発言出来るように機会を作ったこと。(文字遊びの言葉の例など簡単なことから) ・〇分までに出来たら…【よく出来ました!】【すごい!】【頑張った!】などゲーム感覚にしてやる気を上げた。 ・席替え(毎日くじ引き)	子ども達も一つ一つの活動に集中して取り組むことができていた三学期だったなと思っています。 活動に関してでは無いかもしれませんが、「一番になりたい」という気持ちが先走りトイレに行く時や物を取りに行く時など走ってしまつて怪我するという事もありました。怪我につながってしまうのでその声掛けは、試行錯誤して取り組んでいました。	季節の曲以外にも時間がある時にいろいろな曲を歌ったりしてみたい。

クラス	氏名	学期	Keep	Problem	Try
りんご	山口詩織	1	やる時はやる！楽しむ時は楽しむ！気持ちの切り替え、メリハリ 鍵盤や、製作をする時に、最初に「今日はここまでするよ！」「その後は給食食べるよ」や「お外に遊びに行くよ！」と伝えていました。 そのため、子どもも頑張ろう！という気持ちになって集中できたように感じました。	毎日同じことの繰り返しでマンネリ化 給食の時間に少し騒がしくなることが多かったので、ごちそうさまをする時に、カッコよく静かに食べていたチームを発表していました。 始めはみんな頑張って落ち着いて食べていたけど、少しずつ慣れてきてまた騒がしくなってきました。	ゲームや体操をする時に、全員で楽しめるようになりたいです。参加するのが難しいお友達にも、やってみてほしい！と思えるような声掛けをしてクラス全員で楽しむことができるようにしたいです！
		2	クラス全員が一つになっているような行事を成功させることができました！ 全員が楽しんで取り組むことができるように、運動会の練習が始まる前など、子どもたちのやる気が出るような声掛けを毎回できました。 これからも活動に取り組む直前の声掛けを大切にしていきたいです！	スクールカーストみたいなのが1部できている。	クラスでの話し合いなどを大切にして子どもと一緒に劇を作り上げていきたい！ 子どもの意見を大切にしたい！
		3	みんなで大きな行事を楽しく乗り越える事が出来た！	出来る子と出来ない子の差がすごく、子どもも、誰が出来ないとかわかってしまう。	今年度のりんご組と来年度のめろん組は雰囲気の違いそうだけど、うまく対応できるようにしたいです！

クラス	氏名	学期	Keep	Problem	Try
		1	今年度のクラスではお友だちとの関わりの面で様々な取り組みをしました。今年度のクラスは年少組で同じクラスだったお友だちとの関わりが多く見られていて、去年違うクラスだったお友だちとの関わりが少ないように感じていました。そこで普段より、より一層意識的に子どもたちの自由遊びに私が参加したり、子どもたちが去年のクラス関係なく関わって話すことが出来る時間を作ったり、遊べる時間を多くとるようにしました。まだ自分から遊びに入るのが苦手な子にはいるものの、様々なお友だちとの関わりが増えていったことを自由遊びの時間などで実感することが出来ています。やって良かったです。	1つ目は、クラスの中で活動の合間の排泄や用意、片付けの時間にすごく差があるのが課題です。今までの経験には無いくらい差があるので、どこまで待つのが良いのか悩んでいます。排泄や用意などに時間がかかってしまうお友だちを先にしたりして対応するようにしているのですが、それでも差が出てきています。早く終わらせた子どものことを考えると待たせすぎるのもなあと思う反面、時間がかかってしまう子がずっと活動の始めに間に合わなくていいのとも思います。 2つ目は、自信がないお友だちが多いことです。保護者の方とも懇談で「年少の時から負けるのを嫌がったり…」「自信がないのか…」とというご相談を受けることが多くあります。クラスでも話し合いをする時に1番に発言するのを躊躇っているようなお友だちもいるので、自信をもって過ごせるようにしていきたいです。	課題の1つ目については、活動にお友だちと参加出来た時に説明をきちんと聞き活動に参加出来たことなどを実感出来るような言葉掛けをしていきたいと思えます。今もいつもより早く用意が出来た時に声を掛けるようにはしていますが、子どもたちが「こんないいことがあった！」と捉えられるようにしていきたいです。また普段から頑張っている子どものことも当たり前と思わずに目を向けていきたいです。 2つ目については、頑張っていることを認めることはもちろんのことですが、ゲームで負けた時やその子の中で失敗したと思うような経験をしたことも大切に『次に向けて頑張ろう』『失敗も悪いことじゃない』と思えるようにしていきたいです。また、コロナの制限もかなり和らいだので学年の横の繋がりや学年の垣根を越えた関わりを持てる機会が出来たらいいなと思えます。
	武市真実 みかん	2	作品展の際に、チームを作ったことはすごく上手かったなと思っています。みかん組は比較的、自我が強く出るお友だちが多いです。それも良い個性だと思っていますが、年中という年齢では集団の中での意識を持てるようになることも大切だと思っています。運動会ではみんなで一つのことをする場面が多く、集団で行動することが苦手なお友だちが目立ちました。その経験もあり、作品展ではエリアを作る時にやりたいエリアを選び、チームを作ることで自分事として取り組めるようにしました。すると自ら協力しようとする姿が目立ち、とても嬉しく思いました。また製作中では意見を出しにくいと思えたので、事前に子どもたちと設計図を作る時間も設け、その時にそれぞれのエリアを担当するお友だちと何を作るか相談しました。そのこともそれぞれがイメージを持ちやすく参加しやすくなる理由の一つだったのだと思います。 一学期課題だった自信がないお友だちについてですが、それぞれ自信がない理由が違うので全て解決した訳ではありません。お友だちの中には聞き方が分からないという自信の無さがあったお友だちがいたので、自分から言葉で聞けるように促し、自分から聞きに来れたり言いに来れた時はどんなに時間がない時でも「言ってくれて嬉しいわ！ありがとう！」と言うようにしていました。そのこともあってか自分から言いに来ることが増えたように思います。	自分が絶対正しい！と思っているお友だちがいて、譲れないのが課題です。自分の意思があることはすごく大切なことだと思いますが、その分、自分が正しいと威張ってしまうこともあり、お友だちに怖がられてしまう面もあります。そのお友だちの将来のことを考えるともう少し周りも受け入れられるようになってほしいと考えています。 私から何か注意をされた時に、やってしまったという悲しみではなく、怒られるのが嫌で「やめて！」と逆に怒っているお友だちが何人かいます。私もそのようなお友だちには比較的穏やかな声をかけるようにしていますが、怒られる！と分かった途端、嫌だ！モードになってしまいます。	1つ目の問題点には、現在分かりやすく間違えていることは伝えてはいます。曖昧に伝えると納得がいかない様子だったのでそのように伝えるようにしています。落ち着く時間も必要なようなので時間をおくこともおるのですが、その解決も曖昧にしないようにしています。今のところそれで少し変化が見られているので続けていきたいです。また桃田先生が落ち着くように空を見上げることもやってみてくださったので私もやってみます。 2つ目の問題点では、現在良い部分にもフォーカスをあてて声をかけること、問題の大小を見極めて声のかけ方を変えることをやっています。それで効果のないお友だちもいて、逃げ出すお友だちもいるのでそのような場面では補助の先生や職員室の先生の手をお借りするのがいいのかなと思っています。 一学期に打ち解けることが出来る取り組みをしたからか、運動会や作品展を乗り越え、クラスみんなで自然と遊ぶことが出来るようになって来ました。三学期は三ヶ月と短いですが、みんなで遊ぶという機会を減らさないようにしていきたいです。また、年長に向けて、自分で考えるという機会をより増やしていけるようにしたいです。
		3	今年のクラスはなんでもすぐに積極的にになれる子とそう出ない子の差がすごく激しかったです。積極的にになれる子のことは頭ではもちろん把握しているのですが、今年度はあえて口に出そう出そうと意識していました。なんでも頑張れるお友だちも頑張っているということを忘れずにご用意がいつも通り出来た時も「頑張ったね！」と意識的に声をかけるようにしてきました。自分が子どもの立場に立った時にいつも頑張っているのに褒められなくて、たまに早く出来た時にすごく褒められている子を見たらどう思うかを考え、認めてあげたいなあと思って始めたことなのですが、この1年出来る子が苦手なを助ける姿を多く見た気がします。自分が満たされることで誰かを助けることが出来ると感じました。 また今年子どもたちに自分が経験したことを通して自分も相手も大切に出来るようなお友だちが多いクラスにしていきたいと目標を立てていたのですが、まずはわたしが子どもたちに経験を与えられるように、個別でもクラスでもしっかり話を聞く時間を作ったりと意識してきました。すると時間が経つ事に「あれしたい！」「これしたい！」と発言出来るお友だちが増え、クラスでの話し合いでは「みんなの話聞こ！」と言う子が出て来て、「みんなで作るからなんでもいい！」と自分の意見だけでなく、みんなで決めたからそれでいいと言う子が出て来たり、すごく周りを考えることが出来るお友だちが増えていったなと感じます。自分を大切に出来るような経験、これからも大切にしたいです。	子どもたちが園での活動を自分事として捉えるために話し合いなどの機会を多くもっているのですが、話し合いをすればするほど、私自身出来るだけ子どもの希望を叶えたいという気持ちが強くなり、どこまで子どもの意見を聞こうか、どこで私の意見を出そうか、見失う時がありました。 また最後の最後まで、対応が難しかったお友だちがいたのが心残りです。他のお友だちある程度、こういう言葉がけが耳に入りやすいなど少しはその子への対応が見い出せたのですが、何度声をかけても楽しくなりすぎて周りが見えなくなるお友だちへの対応は効果的なものが見い出せませんでした。スタンプや別の先生を呼ぶ、小さい声で言う、出来る場所は事前に声をかけるなど様々試したのですが、…難しいです。	課題の1つ目の話し合いの時にどこまで子どもたちの希望を叶えるか見失うことについては、やっぱりわたしは子どもたちが楽しんで、子どもたちがやりたいと思ったことを出来る保育が好きなので、その気持ちは忘れずに出来る限り子どもと話し合いたいと思えました。 2つ目のことに関しては、もっと長い時間に目を向けることと、保護者の方や桃田先生、園長先生にはよく話すようにしていましたが、もっと強く話しをする場面があってもよかったのかなあと思えました。 来年度は学年が変わるので全く想像出来ないことばかりですが、単発で終わる保育よりも時間をかけて行う保育を増やせたらなあと思えます。絵画の研修でも、子どもたちが描きやすい絵画は日常的なものがあったので、絵画の数を減らして1つの絵画に時間をかけたたり、お店屋さんごっこでも子どもたちにもっと日常で見つけたお店屋さんの姿を聞き出せたらなあと思えます。

クラス	氏名	学期	Keep	Problem	Try
安井直緒	安井直緒	1	<ul style="list-style-type: none"> ・お店屋さんごっこでは 色んな材料を用意して全く同じのを製作するのではなく子ども達自身考えて作り上げていた。事前にイメージを膨らませるように写真を見せたり話をしたのでいつもわからないという子どももスムーズに出来た。 ・話を聞かない子、聞いてない子には話す前に『今から大事な話をするからね』など一振りしてから伝えるようにしたら子ども達も聞こうとする姿勢になる。 ・年中では大変という子たちが話を聞いて落ち着いていること(7月にかけて本性を出してきて大変な部分が見えてきたけど) ・色んなことに対してすぐに答えを出すのではなく『どうしよう?』と返事することが多くなった。それで子ども達で考えられるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月にかけて友達とのトラブルが多くなった。仲良く遊んでいるけれど急に叩かれた、嫌なことと言ってきたなど、お互い言い合っていて、仲介が難しかった。 ・やりたいことだけ参加する子への言葉がけが難しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの気持ちを考えられるように話し合いをする。謝ったらおしまいではなくその後の話も出来るようになる。 ・コロナ明けてからの行事をなるべく元通り戻したい。
		2	<ul style="list-style-type: none"> ・子供と担任と一対一で話をしている時、その場で最後まで聞くことが出来るようになった ・色んな行事が復活することが出来て保護者の方にも喜んで貰えた ・紙を用意して、嫌な言葉を言われたらその紙はシワシワになって元通りにならないってことを話した時子どももよく理解して真剣に話を聞いていた ・友達に言葉きつくそれしたらあかん!とやってしまうことに対し、それは言われたらどう思うかを話合ってから、肯定的な文を言ったり、優しく言うようになったりした 	<ul style="list-style-type: none"> ・私が話をする時わざわざ話を聞けてない子もいるので、小学校に向けて切り替えを自分達で気づくようにする ・友達とコミュニケーションを取りたい気持ちになり、成長した部分を感じるが相手との距離感、相手の気持ちなど理解は難しいところもあるのでそれをわかりやすく伝えていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会に向けてみんなが楽しく出来るようにしたい ・色んなことを試していく
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会の劇はオリジナルの劇で内容、セリフを子どもたちと一緒に考えていきました。子どもたちもノリノリで楽しく出来た。 ・卒園までやりたいことリストをピックアップしていて、子どもたちの中で楽しかった思い出が強いものややってみたいことを知れて、最後に子供達の笑顔が見れた。 ・小学校との交流を通して小学校への期待があらわれて話を聞こうとしたり意識が変わってきた。 ・最後まで話を聞くことを伝える為に、話を言う前に「最後まで話を聞いてね」と言ってから伝え、いい終わってから質問を聞くようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒園間近になって、男の子グループの動きが激しくなって楽しくなるのはいいけど、落ち着けるようにしないといけない。 	<ul style="list-style-type: none"> 次は年少ということもあって、初めてだらけのことだけどもまた違った環境での保育を楽しんでいきたいと思います
ひまわり	矢谷桜	1	<ul style="list-style-type: none"> クラスで合言葉を作ったこと。これからも継続して、続けていきます 	<ul style="list-style-type: none"> 自閉症の子に対してのクラスの友だちの対応。真似をし始めたり、やっぱり自分たちとは違うと気づき始めた子たちに、どう関わりをすべきか、どう伝えたいか難しい 	<ul style="list-style-type: none"> もう少し余裕を持って過ごせるように、しなければならないことを、早めにしようと思いますが、やるべきことが多すぎてついていけません、
		2	<ul style="list-style-type: none"> 作品展などで、子どもたち主体で全ての作品を作ってきて、自分たちの意見で作ったものだからやっぱり特別な気持ちはあったようで良く覚えて保護者に話していました。子どもたちで話し合うのも上手になってきて、意見をおしつけたりせずに最後まで聞く。気持ちが持てるようになりました。 子どもたち同士で話し合うこと、子どもの意見を取り入れてそれを形にしてあげてを継続したいです。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉が達者になってきたり、元々兄弟がいる子と違って、家族構成などの関係で受け身になりすぎている子がいます。難しいことだなーと最近よく感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> 一学期に悩んでた自閉症の子に対しての関わりですが、クラス自体仲間意識が芽生えてきて、体育遊びなどを通して私が、リアクションを取ったりするとみんなをそれを真似て、応援するようになったり、しました。子どもたち担任のことをよく見てると感じます。 課題について、嬉しい言葉そうでない言葉人によっての感じ方を学べるように取り組んでいきたいです
		3	<ul style="list-style-type: none"> クラスでの合言葉を作ること。活動に移る時に気持ちが切り替わる。毎日行うことで子どもたち同士で言い合うこともできていたので、これからも続けたいです。 子どもたちとの話し合いの場を作ること。マインドマップがものすごく子どもの意見を書く時に広がっていきやすかったのでこれからも活用したいです。 	<ul style="list-style-type: none"> この一年、子どもの思いに答えてきたが子どもの思いを全て形にしてあげれたかな?と考えた時に、作品展が1番大変でも子どもの作りたいものを作らせてあげたくて、飾るスペースも考えたりしないといけないので、来年はスペースをあらかじめ伝えたりして子どもと話し合っていきたいと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵画の画用紙選び!使ったことのないパステル系の色を使ってみたいので、それに合う題材選びなど頑張りたいと思います。 色々やり方を変えて取り組む新学期ですが、試してみて途中で違うな?と思ったら気軽に意見を言えるような関係でありたいと思います。
すみれ	西尾里菜	1	<ul style="list-style-type: none"> 1学期が始まってから、話を最後まで集中して聞いたり、聞く姿勢ができていないのが多かったが、出来るようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手が言われたら嫌なこと、されたら嫌なことだということがわかっているのに、してしまうこと 	<ul style="list-style-type: none"> 嫌な気持ちにならずに毎日みんな楽しく過ごすことができるように、話し合いの時間を設ける、また自分たちで解決できるようになる
		2	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの場を作るというよりは、発表の場を設けて、嫌な気持ちになる言葉ってなんだろう、どんな言葉を言われると嬉しいだろう、ちくちく言葉ってなに?など言葉について見直す時間を作った。また、みんながみんな自分たちで解決することは難しいようで、保育者のもとに来て、こんなことがあったことを話してくれて、保育者と共に解決したり、近くにいるお友だちが中に入って話を解決してくれたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話を始める前に声掛けをするが、その時にパタンと静かになることもあまりないので、保育者が前に立ったら気づいて静かにできるように子どもたち同士で声掛けあったり、その場の空気を察して静かにしたりが出来るように日々練習中。 	<ul style="list-style-type: none"> 多数決などで手を挙げる機会があるときは、みんな手を挙げてくれるが、発表となると決まったお友だちがいつも手を挙げてくれるので、みんなが楽しく発表できる環境を作って、みんなが手を挙げられるようになってほしい。
		3	<ul style="list-style-type: none"> 発表の場の時に、友達同士で当てたりしたり、前に出て子どもが中心となって朝の会をしたりしたこともあり、みんなの前で発表や話す機会を増やすことが出来て、積極的に参加している姿が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 1学期はまだゆとりを持って過ごせたが、2学期3学期は毎日することに追われていて、外遊びも思うように行けなかったりしたので、もうちょっとゆとりを持ってのように過ごしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 少しでも時間を見つけて出来ることはしていく、遊びの展開もしていきたい。

クラス	氏名	学期	Keep	Problem	Try
ゆり	上山友菜	1	お姫様、王子様の話をして人の話を聞く姿勢がしっかりできるようになった。	最後まで人の話をきちんと聞くこと。①また、ありがとうという感謝の言葉が自然と言えるようになる。②相手の気持ちになって言葉を発する(良いところを見つける)③	①どうぞの言葉を聞いてから動く。②日頃から担任が伝え続ける。③みんなでいいところを出し合う(話し合い)
		2	みんなで協力して物事に取り組めた(一人一人がクラスの一員であることを伝えたから)少しずつではあるが話を聞く姿勢がとれるようになってきた(毎度の声掛けやルールを決めた)	どうぞの言葉を聞くより前に先に動いてしまう子がまだいるので、落ち着いて話を聞いてから動くよう伝え続けている。 いいところを出し合う。中には出せる子もいるがやはりまだいけないところを伝えてくる子が多い。 数人ではあるが、友達に対して言葉がきつい子がいる(何度声をかけても相手の気持ちを考えるより先に言葉が出てしまう)	話を最後まで聞く事 担任や補助がいいところをどんどん伝える また子どもから出たいところをみんなに伝える
		3	担任が前で話すことに早く気づけるようになった(声掛けがなくても子ども同士で伝え合えるようになり素早く聞く姿勢になれる) 子どもと関わる時私も一緒に楽しく笑顔で取り組む(安全を確認しながら)	相手の嫌がる事をしない些細な事で最後まで喧嘩があった(言われた、押された等)	それぞれのクラスの子どもの特性を知りいろんな先生の保育を見てやり方や声掛けを学びたい

クラス	氏名	学期	Keep	Problem	Try
ホーム	石崎良子	1	<p>ホームクラスでは、できるだけ自由にアットホームな雰囲気保育したいと考えていて、今学期は近づけたかなと思っています。</p> <p>ケガを防ぐため、ひとつひとつのおもちゃや教材を大切に使えるようにするため、コーナーを作って保育を進めていくようにしていると、子どもも落ち着き、おもちゃが散らかることもないので、継続していきたいです。</p> <p>子どもの人数が多いと分かっているときはお手伝いして下さる先生を決めてくださってるので、助かっています。</p> <p>ホームクラスの先生方と毎日役割を決めて保育に入り、その日の出来事や今後の注意点など、次回に繋がる話をしてからその日の保育を終えることで、子ども達の様子を共有できているので、短い時間ではありますが、引き続きしていきたいです。</p> <p>年少の運動会を6月に園庭でしたのは保護者の方も見やすく、10月の年中年長の運動会もゆっくりみてもらえそうでよかったですと思います。</p>	<p>課外のときはお遊戯室が使えない、グラウンドが使えない、と分かるのですが、行事やワックスなどイレギュラーになる場合、早めに教えてもらえたら助かります。人数、メンバーによって、早めに部屋を考えたいので。</p> <p>??以前にも課題として挙げましたが、一部の先生が知っていて、口コミ?で流れ、知っている先生は知っている、知らない先生は知らないまま話が進んでいることがあります。</p> <p>私自身、終礼にでていないので後で他の先生に聞きに行ったり、気づいた先生が教えてくれたりしています。</p> <p>パートの先生やバスの方も知っておいた方がいいのかなと思う情報もあります。</p> <p>?補助に入ったとき、みんなと同じ活動ができない子に対して、無理強いせずここぞというときにだけみんなと合流するようにしているのですが、園の方針としてそれでいいのか、他に方法はないのか迷うことがあります。</p> <p>特に補助は担任の先生のやり方が最優先になるので、園の方針、担任のやり方、自分の思いが入り混じり、葛藤します。</p> <p>??午前保育のときは、ケガ防止や保育の充実のためホームクラスを受け入れる人数と確保できる部屋がバランスよくできたらなと思います。</p> <p>とくに課外がある午前保育は人数も多く、部屋も確保。</p>	<p>ピタゴラススイッチを早く完成させて子ども達に遊んでもらいたいです。(なかなか作業が進まずすみません)</p> <p>コーナー遊びを充実させるために、大きな積み木を毎回運んでいます。</p> <p>できるだけ今あるものでしていくつもりですが足りません。</p> <p>できれば軽くて大きいめの『しきり』になるような物がほしいです。</p> <p>??全体LINEをふんだんに使って情報を共有すればいいと思います。</p> <p>?園の方針としてはこれ、子どもの様子や周りの環境によって臨機応変に、でもこれは避けたいといった、保育してる者がこの子にはこのやり方でいいんだ、と自信を持って保育できるように園の方針を職員みんなでも共有したいです。</p> <p>??(今でもできるだけホームクラス利用は控えてくださいとインフォメーションして下さってますが)人数制限をかけるとか、バス送迎はなしとか、使える部屋と人数をバランスよくできたらなあと思います。</p>
		2	<p>コーナー遊びを中心に、子ども達が選んで遊べる環境を作ることができた。</p> <p>できるだけ飽きのこない遊びを提供できるように、子ども達の興味に敏感に反応していきたい。</p> <p>大人が整えた環境不備のせいでケガをすることがないように注意してきた中、多少のケガはあったものの、大きなケガに繋がることがなかったのがよかったと思う。</p> <p>2歳、満3才児が今年に入ってかなり多いので、移動の少ない保健室を借りている。</p> <p>人数によっては、名越先生にもお手伝いしてもらっている。</p> <p>ホームクラスは縦割りで遊ぶメリットもあるが体の大きさの違い、遊びのペースの違いトイレの声かけのタイミングの違いがあるので、異年齢と遊べる機会も作りながら、部屋を分けるこのやり方は今後も続けたい。</p>	<p>ホームバスにホームの先生が乗っているのでできるだけ早く保育に専念したい。</p> <p>ホームクラスの部屋から借りました。と言ってもらうのは全く問題ないが、返ってこないことが多々あるので、元に戻してほしい。</p>	<p>??に対して午前保育の日の課外教室の調整</p> <p>シフト調整の時点で、午前保育の日ホームまで残れる先生を募ってもらえたら毎回直接お願いしに行かなくて済むので募ってほしい。</p> <p>全体について自分のクラス以外のクラスに入ってみる機会を作って、他のクラスの担任の苦労や子ども達の様子を知れば、課題を共有でき、対応方法などを共に考えることでもっと子ども達のことを理解できると思う。</p>
		3	<p>2学期に引き続き、大きなケガもなく過ごせた。</p> <p>あんな先生に手伝ってもらいながら2歳を保健室で見ることになり、落ち着いた雰囲気でも過ごすことができています。</p> <p>この1年で、春秋の流れ、夏の流れ、冬の流れがある程度でき、荷物の置き場、持ち物など、細かなことも固定できつつある。</p> <p>新学期もこの流れでやっていくつもりだが、メンバーや空き部屋の様子を見て改めて考え忘れ物がないよう、子ども達が戸惑わないよう、スムーズにできるようにしていきたい。</p>	<p>☆雨の日、午前保育のときの活動場所の確保</p> <p>☆☆ホームの追加や急な時間変更が多く、子ども達を急かしたり、活動が途中になったりする。</p> <p>また、もうすぐお迎え来てくれる!と期待して待っている子が、またホームの部屋に戻る姿は胸が痛い。</p> <p>☆☆☆ホームでの外遊び後の廊下の砂が多くどうかしたい。</p> <p>できるだけ声をかけているんですが。</p>	<p>☆課外教室の日程を決めるときにどこでもいいならば、行事前の午前保育のときを避けてもらえれば、場所も確保できるしホームに残る子ども少しは減るかなと思う。</p> <p>☆☆保護者の方のことなので、こちらだけで解決することはできないが、保護者の方に急なホーム追加や時間変更は、子ども達にどのような影響を与えるかを伝える機会があればよいか? ex プレインに載せる・お手紙を出す</p> <p>☆☆☆日々考え中</p> <p>ホームで新たに挑戦したいことはいつもふと思いつくのでそのときにご相談します。</p> <p>保育を見ていて思うのは来年度も夏休みの仲良しデーはまたしたい。</p> <p>落ち着いた頃に担任の先生を入れ替える日を作るたくさんの子と関わりたいのでフリーの日はどこかの教室で給食を食べる日を作りたい。</p> <p>(今回、池田みなとくんにお誘いを受けてフリーの日に給食をもってお邪魔しました。お忙しいと思いますが、1年に1回、学期に1回ぐらい淡野先生や園長先生が行かれると子ども達のテンションも上がると思います!)</p>

クラス	氏名	学期	Keep	Problem	Try
フリー	北橋 雛	1	9月からまた働かせていただいて、初めて経験する補助でいろんな先生の保育を見て学んだり、アドバイスしたりとても勉強になります！全クラスにはいるのでいろいろな子供たちと関わって知ることができて嬉しいです。後輩の先生にはできるだけ嫌な思いをしないように「こうしてみたら？こうしたほうがいいかも！」と提案するようにしています。これからは発表会の練習もあるので、今年度残り3ヶ月頑張っていきたいです！	フリーと補助、担任の経験をして休憩時間について疑問に思ったことがあります。普段休憩の1時間は基本30分で残りの30分は給食でというふうに聞いたことがあります。 フリーの日は職員室で給食を食べて、夕方にまた別で休憩をとらせていただいています。その際は計ほぼ1時間休憩をとることができます。 しかし、担任や補助として保育に入っていると子どもの配膳、健康管理や安全面(発熱や嘔吐、おもらし、こぼしてしまうなど)や全体の声かけをを行いながらの食事であり、休憩に値するのか疑問です。保育後も様々な仕事がありとりたくても普段は30分程しか休憩を取れないです。 そのため残業申請の際に退勤時間後の残業時間と別に、 ・保育の中での給食の場合は0.5時間(午前保育の時など1時間取れる時間は??) ・休憩を一切とれなかった際は1時間申請させていただけたらなと思いました。考えてくださると嬉しいです。	この前の研修で見た、制作などの課題を締め切りを指定して空いてる時間で自分で考えて行い終わらせるという方法がとてもいいと思ったのでまた活かしたいと思いました。
		2	また、フリーの時間ではやめに気づいて全体の仕事を進めていきたいと思っています。		
		3	フリーの立場を経験できてよかったです 担任、補助、フリー、バス添乗 いろんな立場からの見方や大変さ、それぞれたくさんやってくれているからこそだなーと感じました この期間があったから、また4月から担任さらに頑張ろうと思えます 続けて担任をしていたらまた感じなかった担任の楽しさを感じれたり、いろんな人のそれぞれの大変さを知った上で感謝の気持ちを忘れずいろんな人と関わっていこうと思います	2学期の振り返りの際にお話しさせていただいた、休憩の件はどうなりますか、、、？ 園の様子のスタイルを変えたいです！	してみたいことを実際に行動に移せるよう心がけて保育していこうと思います 昨日の絵画の研修がとてもためになりました 絵画や制作活動が好きなので、のびのび描ける作れる題材をできたらなと思います

クラス	氏名	学期	Keep	Problem	Try
フリー	沢崎千翠	1	<p>○フリー、バス添乗、補助と子供達に接する時は、一人一人ゆっくり話を聞いてあげる。姿勢をひくく、目を見て対応するように意識した。</p> <p>○子どもの目に触れる、窓面、壁面、看板など、子どもが見て興味関心を持ってもらえるように工夫した。</p> <p>物語などを取り入れた。</p> <p>○バス添乗、子供達の忘れ物、降ろし忘れなど、今まで以上にしっかりチェックするように心がけた。</p>	<p>○様々なクラスに入る分、把握が浅い事で担任の先生に説明してもらうこともしばしばあった。クラスによって、担任のやり方が違うので戸惑うこともよくある。</p> <p>○子ども乗せ下ろしブザーがついたが、定期的に降ろし忘れがなくてもブザーがなるのが当たり前になってしまっていて、ブザーがなったことに担任や補助の先生がバスまで見にいくと行った事がない。ブザーの意味があるのか。</p>	<p>○フリーは、担任の事は、基本しなくていいですが、把握は、したいなと思うことが時々ある。</p> <p>○加配補助についてももう少し寄り添えるように知識を増やしたり研修の機会があれば参加したい。</p>
		2	<p>保育補助、バス添乗、職員室と様々な場所で園児にも保育士にも保護者にも関わる中で、継続して一年間関わる担任ようにはなれないですが、自分なりに、子供達に存在を覚えてもらい、困っていたり、何かあれば声をかけられる人になれるように、いつも自分から挨拶したり、声をかけたり関わりに行くようにしていました。最近では、クラスに入ると、今日は、ちあき先生が来てくれるの？明日は何組さんにいる？バスにのる？など子供達から話しかけてくれるようになりました。</p> <p>フリーだからこそ、関わる子供達が増えて幸せを感じる時間がパートをしていた頃よりさらに増えました。</p> <p>今後も積極的な関わりは継続しようと思います。今までは、自分からこれをするよ、あれをするよと言う発信の仕方だったのを、今から〇〇をします。はじめに何をしたらいいかな？や何か必要な？など子供達からの発信をまつように声をかけたり、子供から話してくれる事を、とにかく聞くを最優先にするようにしてみると、笑わなかった子がこっとうしてくれたり、話をあまりしなかった子が話し始めたりするようになりました。</p> <p>あと、私自身が失敗したり間違ったりしたことも今間違えてしまったね、など自分の失敗を認めたりすると子供達が、「先生、失敗してもいいよ、教えてあげる」など子供達の何かをしてあげようと言う気持ちが見えてすごく素敵だなと思いました。</p>	<p>今更ですが、自分が良いと思う事も相手には、不快に感じてしまう事や、自分が一生懸命やる事が誰かのためになると思って動いていたのですが、周りもみながらすすめないといけないなと思いました。</p> <p>絵本研修、ありがとうございました。</p> <p>大人を相手に話すことの難しさや考えを相手に伝えることの大変さや好きを伝えると安易に考えていたなと改めて思いました。もともと、大人を前にするとあがり症なので、その部分も克服しないといけないと思いました。</p>	<p>加配の子供達が増えている現状の中で、自分自身が寄り添える人間になるために、専門的な知識や関わり方なども少し手探りではなく勉強したいなと思いました。</p> <p>運動会で、シーサーを作らせていただき、自分を発揮出来る機会がただでさえ嬉しかったし、ベビー教室に関わらせていただけたのも嬉しかったです。来年も様々な形で活躍できる場所を探して行けたらと思っています。</p> <p>日々思うのは、フリーとは何？ってところなのですが、私自身はなんでも屋さんみたいになっていますがまだいまい何をしていたらと考えている感じです。</p>
		3	<p>☆朝晩バス停見守り 毎日挨拶を返してくれる子も返してくれなくて会釈やそのままだった子も、毎日続けていくと、相手からおはよう～と言ってくれたり、笑顔のやり取りが増えたり、廊下ですれ違っても挨拶してくれたり、と継続し続ける事の大切さを感じました。笑顔で元気よくを自分では意識していたのですが、一学期の頃より、沢山の園児達と話せるようになっていた気がします。</p> <p>☆バス添乗 バスの中が退屈な場所にならないように、一人一人声をかけたり、クイズをしたりとごすようにしていました。時には、眠たい子供が多いと安心して寝れるように声をかけたり、2歳さんは不安で眠たくて寝れなかったりしたので、横で寄り添ってあげたりとバスが不安な空間にならないように心がけました。</p> <p>あとは、来る時と同じ状態でかえるのが私は保護者への安心にもつながると思うので、身だしなみや靴の履き違い、鼻水ではながカピカピなどがないようにしてかえすようにしていました。三学期になると子供から鼻を拭いて欲しいや、鼻をかみたいからティッシュが欲しいなど声が出てくるように変化。靴の履き違いも年長さんが2歳さんの靴を乗る前に見てくれていたり、先生、今日はバッチリだよ！と小さい先生が三学期には何人かいて、忘れ物をみてくれたら、素敵なお知らせがうまれたようにおもいます。</p> <p>☆保育補助</p>	<p>自己肯定感について色々、調べたり、話を聞いたりする中で、2歳から年長にかけて、先生達が子供達と幼稚園生活で継続してやってきてすごく良かったと思えるものをつくってもよいのかなと思いました。</p> <p>やってみたいを引き出す、やりたい気持ちにさせる。自由にやっていいと言われると、設定の保育中心にやってきた先生の中では、自由の度合いだったり、どこをのびのび？としたら良いかが難しいように思います。</p> <p>しんひのお台幼稚園としての一年目標やこんな子供達を育てていきたいといったみんなが共通の方向に向ける具体的なビジョンが欲しい気もします。</p> <p>コロナ禍も落ち着いてきたので、バスでもありましたが、他年齢交流をするのはすごく良いのかなと思います。</p> <p>年長中さんがやっている事をやってみたいが小さい組さんの目標ややってみようのきっかけになったり、逆に下の子に教えてあげて、できる事が増える事で関わり経験など気持ちの成長が沢山あると思いました。</p> <p>私の経験ですが、実際にこの仕事に就きたいきっかけになったのが異年齢交流を幼稚園でいつもしていたからです。</p> <p>自由遊びを年少さんとしたりしていたのを今でもすごく覚えています。</p> <p>今も娘が習い事ではありますが、年長者の子供達が</p>	<p>2歳との関わりに不安もありますが、子供が安心して来られる環境作りを心がけたいと思います。</p> <p>絵本、手遊びを沢山あげられる学年なので、子供達が口ずさんだり大好きな絵本がうまれるように繰り返し、継続を心がけた保育をしていきたいです。</p>

クラス	氏名	学期	Keep	Problem	Try
副主任 清瀬麻貴		1	<ul style="list-style-type: none"> ・freeチームの連携。報連相を密にとってお互いの仕事の把握ができた。 ・進行の時間組みや、玄関窓面の交換などFreeが担当した事で担任の先生方の負担が少し軽減できたと思う。 ・お掃除の方に来ていただけたことがとてもありがたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ECEQをきっかけに、各自自園な事や保育の事を見つめ直すきっかけができたと思いますが、アウトプットした事の解決策を考える時間がとれていません。一つひとつ時間を作れたら良いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助の先生方が増えたこともあり、休憩室以外の子ども理解の為に情報交換ができる場を増やしていきたいです。
		2	<ul style="list-style-type: none"> ・Freeチームで予定を先読みして、できていない事に気付いてフォローできるケースがありました。担任経験者がFreeにいる事が強みになっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Freeで受けていた仕事が保育補助・バス添乗で隙間時間が無くて、なかなか取り掛かれなかったり、予定より時間が掛かることが何点もありました。担任の先生方が少しでも時間を有効的に使って頂けるように！負担軽減になるように！と言う思いで引き受けていましたが、Freeチームもいつもパツパツで、スケジュールを考えて引き受けないといけないと反省しています。 ・パートの先生方が扶養内で働いていただくとなると週1はお休みを取って頂かないと厳しいのですが…穴埋めが本当に大変です。来年度の人事も含めて考えていけないといけない課題です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期は新年度準備に入るの、イドバタ会議でテーマにしたジェンダーレス保育の内容をを具体化していこうと思います。
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・Freeの先生方のアイデアが豊富で卒園式看板や玄関窓面の飾り付けがとても素敵にしてください嬉しかったです。FreeノートのToDoリストもサクサクこなして下さって流石でした！ ・ありがとうフェスティバル 私の中で大成功でした！！昨年度のお別れフォークダンスの反省をそのままにせず、先生方と相談しながら進められたことがとても良かったです。 ・卒園式、脱コロナで久々の4クラス合同の卒園式。試行錯誤しながらカタチを作り上げられた事、当日思い描いていた段取りでスムーズに進行できた事に達成感を感じました。(赤道のペンキが、はげてきているので確認して下さい。ペンキ屋さんが出入りされている間にお願ひした方が良いのなら早い目に！) 	<ul style="list-style-type: none"> ・陰で努力している先生方の仕事を見える化していかないといけないと感じました。今年度A・Cコースの仕事量の分散はうまく行ったと思いますが、新年度A、B、Cコースに分かれるとどうなるのか…Cの先生の人数が少ないので負担が多くなると心配です。みんながフェアにお仕事できるように考えていきたいです。(Freeの仕事も見える化できたらな…) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうフェスティバル…今回は清瀬プレゼンツだったので、今後色々なイベントを先生方でプロジェクトとして考えて進行してもらえたら良いと思います。私…出しゃばりすぎないようにしないと。 ・新体制のFreeチーム、担任の先生方にとって、Freeの先生がいてくれて助かる！と思ってもらえるような存在になるように位置付けていきたいです。
保健 名越杏菜		1	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室 ・視力検査:絵本を使った導入を行うことで楽しくスムーズに行うことができました。 ・お薬バンド:飲み忘れ防止になるのでこれからもこのシステムで行いたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年中年少の聴力検査が難しい。 ・おもちゃコーナーは必要だったのかな… 	<ul style="list-style-type: none"> ・聴力検査も視力検査のように楽しみながらスムーズに行うことができる方法を見つける。 ・保健指導
		2	<ul style="list-style-type: none"> ①保健業務を行いながら各学年のお仕事とホームクラスのお手伝いができたのは、少し力になれたのかなと思います。 ②保護者連絡、連絡お手紙の使用 	<ul style="list-style-type: none"> ①ホームクラスや各学年のお仕事を担当の先生方だけでは手が回らないという声があったのでお手伝いしていましたが、お部屋以外の場所で行うこともあったのでお部屋にいつもいないなどの声もあるので、お手伝いの仕方が難しいです。 ◎運動会時期の怪我が多すぎました。 	<ul style="list-style-type: none"> ①保健業務を行いながらできる範囲のことを考えていきたいです。
		3	<ul style="list-style-type: none"> 嬉しいことではないですが1年間で様々な怪我や症状をみて勉強になりました。 受診する必要はないかな？という場合でも、園から帰ってきた子どもをみて保護者の方が不安な気持ちや園に不信感をもつことがないように、保護者の安心の為に受診するという場合があることも学びました。 来年度も子どもたち保護者の方が安心して過ごせるように、自分の出来ることを精一杯頑張りたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 受診するべきかどうか判断が難しい場合の最終決定は園長先生にして頂いています。怪我が重なり園長先生が病院にいつくださっているなどの外出でどうしよう…ということが数回あったので、受診の際は私が行く、買い出しなどは行ける人で行く、など園長先生でなければならぬ理由がなければなるべく園に残ってもらう方が安心かなと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 検食を職員室前に置いてから子どもたちの食に関する興味関心が増えたこと、見ていてすごく感じてとってもいいなおもいます！でももし何かあった際に検食がきちんと行われていたのか責任が問われないか心配です…